

利用者サービス



総合案内所

- ◆ 多言語対応 (園内サイン、音声ガイド機器等)
- ◆ バリアフリー対応 ◆ 無料Wi-Fi
- ◆ ロッカー ◆ ベビーカー
- ◆ 車いす ◆ 礼拝室

飲食サービス・お土産など(キャッシュレス対応)

エントランス棟レストラン・フードコート

テラス席で自然を満喫できるカフェや、ポロト湖の眺望を楽しみながら手軽に食事を楽しんでいただける飲食スペースをご用意。



エントランス棟ショップ「ニエプイ」

ウポポイオリジナルグッズやアイヌ工芸品、北海道のお土産品のほか、軽食や日用品を取り揃えております。

◆ 営業時間 9:00～閉園時間



国立アイヌ民族博物館ミュージアムショップ

アイヌ工芸品や博物館オリジナルグッズ、書籍などを取り揃えております。ポロト湖を眺めながらコーヒーも楽しめます。

◆ 営業時間 9:00～閉園時間



開園時間・閉園日

開園時間 9:00～17:00(時期により変動あり)

閉園日 月曜日および年末年始

※月曜日が祝日の場合は翌日以降の平日に閉園
※臨時の開園日・閉園日あり

入場料(税込)

	一般	団体(20名以上)
大人	1,200円	960円
高校生	600円	480円
中学生以下	無料	無料

※博物館と公園の共通券(博物館の特別展示や一部の体験プログラムを除く)※障がい者とその介護者各1名は無料です。入園の際に障がい者手帳等をご提示ください。

お問合せ

公益財団法人アイヌ民族文化財団

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3番2号

TEL 0144-82-3914 FAX 0144-82-3685

閉園時は下記ウェブサイトのお問合せフォームをご利用ください。

<https://ainu-upopoy.jp/inquiry/faq/>

ご来場の際は
ウポポイウェブサイトをご覧ください。

ウポポイ 検索

<https://ainu-upopoy.jp/>



ウポポイ内をバーチャルで体験できます。



バーチャル
ウポポイ

バーチャル
国立アイヌ民族
博物館



ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK

民族共生象徴空間

札幌
新千歳空港



北海道白老町

HOKKAIDO SHIRAOI

国立民族共生公園

国立アイヌ民族博物館

慰霊施設

ウポポイ(民族共生象徴空間)

ウアイヌコロとはアイヌ語で「尊敬しあう(共生)」を意味します。

ウポポイ(民族共生象徴空間)とは



私たちの国の貴重な文化でありながら
存立の危機にあるアイヌ文化の復興・創造等のための拠点です。

愛称「ウポポイ」について:「ウポポイ」はアイヌ語で「(おおぜいで) 歌うこと」を意味します。

アヌココロ アイヌ イコロマケナル 国立アイヌ民族博物館

先住民族アイヌを主題とした
日本初の国立博物館。

P03・P04

アヌココロ ウアイヌコロ ミンタラ 国立民族共生公園

体験交流ホール、体験学習館、
伝統的コタン、工房等からなる
体験型フィールドミュージアム。

P05・P06

ウポポイ(民族共生象徴空間)でできること

豊かな自然に抱かれたポロト湖のほとりで、園内での様々なプログラムや、
国立アイヌ民族博物館での展示など、アイヌ文化の多彩な魅力に触れられます。

Point1 触れる

伝統芸能・食・ものづくりなど
アイヌ文化に体験を通じて触れ
ていただけます。

Point2 感じる

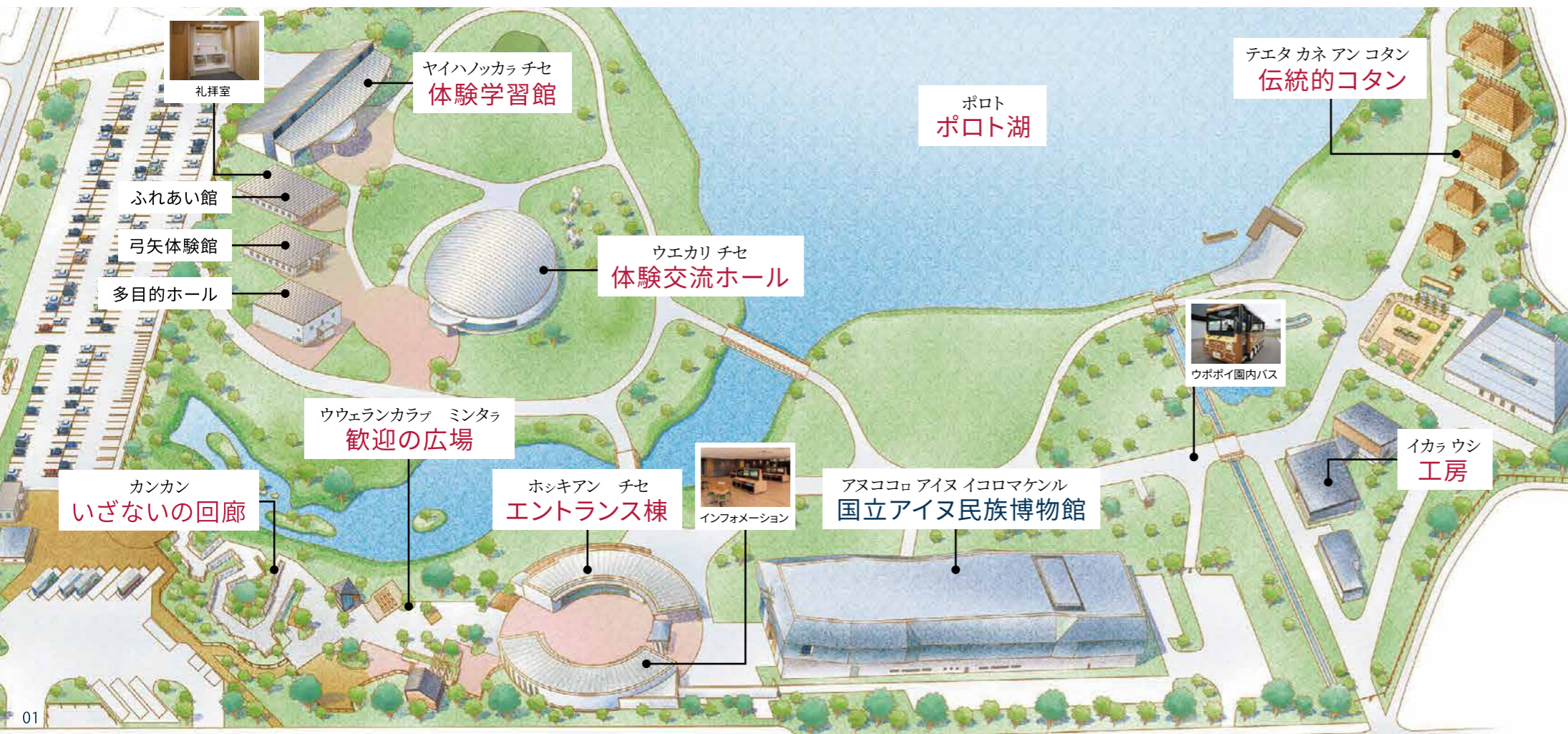
言語や信仰など独自性を有す
るアイヌ文化の魅力を目、耳、心
で感じていただけます。

Point3 考える

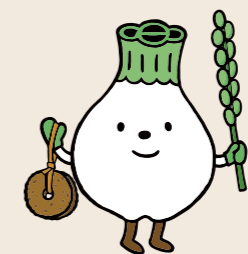
「共生」を考える足掛かりとして、
アイヌに関する歴史や文化など
を多方面に学んでいただけます。

アイヌ語表記について

園内の第一言語はアイヌ語です。そのため、園内の様々な施設の表示の最初にはアイヌ語を使っており、
カタカナやローマ字で表記しています。



過去に発掘・収集され、全国各地の大学等において保管されていたアイヌ
民族の遺骨・副葬品のうち、直ちに返還できないものについてはウポ
ポイに集約されています。慰霊施設は、アイヌ民族による尊敬ある慰霊の
実現を図るとともに、受入体制が整うまでの間の適切な管理を行うため
の施設です。ポロト湖東側の太平洋を望む高台に、遺骨等を納めるため
の施設、慰霊行事施設、モニュメントが設置されています。



ウポポイPRキャラクター
トウレットポん

トウレバ アイヌ語で「オオウバコリ」の意。

ポ アイヌ語で「小さいもの」という
ニュアンスを付け加える語。

オオウバコリについて
北海道、本州の中部以北の林内に自生するユリ
科ウバコリ属の多年草。アイヌにとってシカやサ
ケなどにならぶ貴重な食糧であり、でんぷんを
とり、保存食としても蓄えられました。



先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館

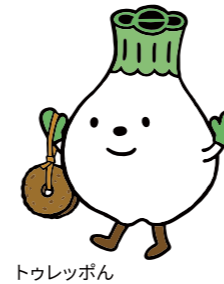
アヌココロ アイヌ イコロマケンル

国立アイヌ民族博物館



博物館の理念

先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展に寄与するために設立されました。



私たちのことば イタク

口承文芸をはじめ、アイヌ語のしくみやアイヌ語由来の地名などについて、音声や映像を交えて紹介します。



6つのテーマ 展示

「私たち」アイヌの視点で現代に息づく多様なアイヌ文化を紹介

- イタク 私たちのことば
- ウパックマ 私たちの歴史
- イノミ 私たちの世界
- ネッキ 私たちのしごと
- ウレシバ 私たちの暮らし
- ウコアッカシ 私たちの交流

私たちの交流 ウコアッカシ

交易品を通して、様々な文化や民族との交流をたどっていくとともに、現在に続く民族共生のありかたを伝えます。



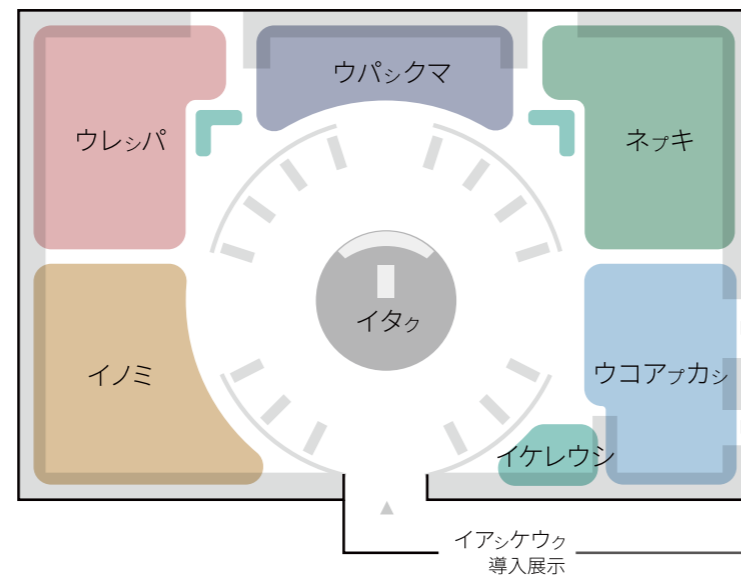
ライブラリ

アイヌ文化や歴史を取り上げた書籍を中心に専門的な学術書や絵本、図鑑などを用意しています。



私たちの世界 イノミ

アイヌの世界観の中心となる、カムイの考えかた、自然観、死生観などについて紹介します。



私たちのしごと ネッキ

伝統的な生業のほか、現代を生きるアイヌの多様な仕事を紹介します。



探究展示 テンパテンパ イケレウシ



ジオラマ、模型、タマサイ(首飾り)や動物の立体パズルなどを通じ、大人も子どももアイヌ文化にふれることができるコーナーです。

※「テンパテンパ」とは、「さわってね」という意味のアイヌ語です。

シアター

座席数96席。アイヌ文化を多様なテーマから大画面映像でわかりやすく紹介するプログラムを各種上映します。



館内及び展示室の解説パネルや表示には、アイヌ語を第一言語として最初に表示しています。音声ガイド機やアプリを通してアイヌ語の解説を音声でも聞くことができます。

館内の解説パネルやサイン、音声ガイドは多言語に対応しています。(最大8言語/アイヌ語・日本語・英語・中国語[繁体字・簡体字]・韓国語・タイ語・ロシア語)

私たちの暮らし ウレシバ

衣食住、人の一生、音楽や舞踊など、アイヌ文化の特色や地域差を紹介します。



私たちの歴史 ウパックマ

現代に続くアイヌの歴史のひろがりをつらなりを、映像を用いてわかりやすく紹介します。

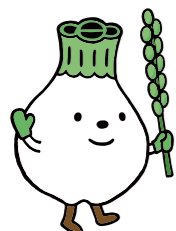




体験型フィールドミュージアム

アヌココロ ウアイヌコロ ミンタラ

国立民族共生公園

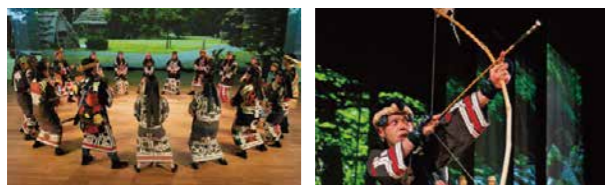


トゥレツボン

国立民族共生公園は、古式舞踊等の上演や多様なプログラムを通じて、アイヌ文化を学んでいただけるフィールドミュージアムです。

ウエカリチセ 体験交流ホール

ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」や口承文芸のユカラ(英雄叙事詩)など、アイヌの伝統芸能を上演します。



ヤイハノッカラチセ 体験学習館

料理や実食体験のほか、教育旅行などの体験活動も行っています。



テエタカネアンコタン 伝統的コタン

アイヌの昔のチセ(家屋)が再現され、生活空間を体感できるエリアです。室内の見学のほか、アイヌの暮らしや文化について解説するプログラム等を実施します。



ホッキアンチセ・ウウェランカラフミンタラ エントランス棟・歓迎の広場

地元産食材を使ったアイヌの伝統料理や軽食、オリジナルスイーツなど、気軽に食事や喫茶をお楽しみいただける飲食施設がございます。ショップでは、オリジナルグッズなどご来場の記念やご家族・ご友人へぴったりなお土産をご用意しております。



イカウシ 工房

スタッフによる実演が行われ、長く受け継がれている技術を間近に見学できるほか、木彫、刺繍、楽器演奏の体験もできます。



ウポポイの提供プログラム(一例)

ウポポイでは、アイヌ文化やアイヌの世界観、自然観、信仰等を皆様へ幅広くお伝えするため、様々なプログラムを用意しています。プログラムの見学・参加を通じて、アイヌ文化を体感することができます。

詳しくは園内で配布しているプログラムタイムテーブル・ウポポイ公式ウェブサイトでご確認ください。

※一部有料のプログラムがございます

文化解説プログラム



● 伝統的コタン

コタンでの暮らしぶりについての解説と、歌や踊りなど、伝承されてきたアイヌ文化を体感できます。

アイヌ語学習プログラム



● 伝統的コタン

発音やアクセントと一緒に日常でも使えるアイヌ語を紹介しします。参加者にはプレゼントもあります。

口承文芸実演



● 伝統的コタン

囲炉裏を囲みながら、日々の暮らしの中で語られてきた物語や叙情歌などを実演します。

ファミリー向けプログラム



● 伝統的コタン

カムイとアイヌのつながり、昔の暮らしや今の暮らしを紙芝居を通して楽しくわかりやすく紹介します。



豊かな自然に囲まれた、アイヌ文化が息づく憩いの場。
多様なプログラムを通じて自然の中で培われてきたアイヌ文化を体感できます。

伝統芸能上演

- ◆ 場所 / 体験交流ホール
- ◆ 所要時間 / 20分程度
- ◆ 実施日 / 毎日
- ◆ 無料(入場料に含む)

重要無形民俗文化財指定の「アイヌ古式舞踊」やムックリ演奏をはじめとして、ユネスコ無形文化遺産にも登録されているアイヌの伝統芸能を上演します。

食体験



● 体験学習館

四季折々の食材を使ったアイヌ料理を体験できます。

ものづくり見学



● 工房

アイヌ工芸の様々な技法について実演と展示を行っています。製作風景を観覧することができ、実演者との対話も楽しめます。

楽器演奏体験



● 工房

ムックリ(口琴)・トンコリ(弦楽器)の演奏方法を学びます。

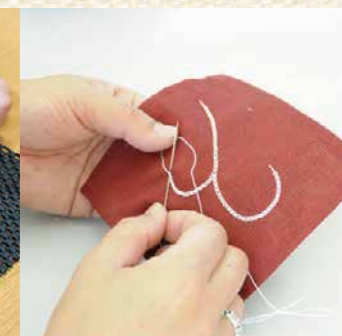
木彫体験



● 工房

木彫や刺繍による作品づくりを体験できます。

刺繍体験



● 工房

木彫や刺繍による作品づくりを体験できます。

アイヌとは

アイヌとは、アイヌ語で「人間」を指す言葉です。

アイヌは、独自の言語、文化、歴史を有しており、2019年に施行された「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」ではアイヌの人々を法律として初めて「先住民族」と明記しています。

かつては、本州北部、北海道、樺太、千島列島に住み、狩猟、漁撈、採集、農耕、周辺民族との交易を生業として、各地にコタンというコミュニティを形成し暮らしていました。

衣服や道具、祭具に見る美しいアイヌ文様、ユカラに代表される口承文芸、人間の生活を支える自然などのカムイ（いわゆる神）との関わりから敬い、感謝し、時に威嚇するカムイノミ（神への祈り）、カムイとともに楽しむ歌や踊りなどの世界観は、アイデンティティーそのものであり、日本の多様性を表すものです。

アイヌ語

アイヌ語は、単語や文法の面で、周囲の言語とは異なるアイヌ独自の言葉です。

アイヌ語のなかでも身近なものとしては、札幌など、アイヌ語由来の地名があります。

アイヌ語由来の地名は北海道をはじめ、樺太、千島、それに東北地方にもあります。

たとえば、登別の「別」はアイヌ語の「ペツ」（川）が由来です。また稚内の「内」はアイヌ語で「沢」を意味する「ナイ」が由来です。このことから、こうした地方には昔からアイヌが暮らしてきたことがわかります。

このほかにアイヌ語から日本語に定着した言葉として、魚の「シシャモ」や海に住む動物の「ラッコ」それに寒冷地に住む動物の「トナカイ」などがあります。

ウポポイ開設の経緯

2007.09 国連総会において先住民族に係る政策の在り方の一般的な国際指針となる「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択されました。

2008.06 国会において「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が全会一致で採択されました。この決議を受けて政府は同年の7月「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」を立ち上げ、報告書が提出されました。

2009.07 政府は、有識者懇談会における報告書の提言を受けて、アイヌの人たちの意見を政策推進等に反映するための協議の場所として同年の12月に「アイヌ政策推進会議」を設置しました。この推進会議の下には、作業部会が設置され、アイヌ政策を体現する扇の要である「民族共生の象徴となる空間」の具体化等について検討が行われ、これを受けて政府による施策の準備が進められました。

2014.06 アイヌ文化の復興等を促進するための「民族共生の象徴となる空間」の整備及び管理運営に関する基本方針が閣議決定され、「民族共生の象徴となる空間」が白老町ポロト湖畔周辺地域に設置されることとなりました。

2019.04 「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」が公布され、同年5月24日に施行されました。この法律に基づきアイヌ文化の振興及び民族共生象徴空間の管理運営を行う法人として公益財団法人アイヌ民族文化財団が指定されました。

2020.07 7月12日にはウポポイ（民族共生象徴空間）が、わが国の貴重な文化でありながら存立の危機にあるアイヌ文化の復興・発展の拠点として、また、先住民族の尊厳を尊重し、差別の無い多様で豊かな文化を持つ活力ある社会を築いていくための象徴として開業しました。

アクセス

札幌から約1時間、 新千歳空港から約40分の好アクセス。

◆ 空路 ✈️

東京 ▶ 新千歳空港 約1時間30分 大阪 ▶ 新千歳空港 約2時間

◆ 道内各都市から 🚗 🚌

札幌	札幌北IC	高速道路利用で約65分	新千歳空港	新千歳空港IC	高速道路利用で約40分
	JR札幌駅	特急列車利用で約65分		JR新千歳空港駅	快速・特急列車利用で約40分

登別	一般国道36号	一般道路利用で約40分 <small>(登別温泉からウポポイまでの目安)</small>	苫小牧	一般国道36号	一般道路利用で約30分 <small>(苫小牧市街からウポポイまでの目安)</small>
	JR登別駅	特急列車利用で約12分		JR苫小牧駅	特急列車利用で約15分

室蘭	登別室蘭IC	高速道路利用で約45分	函館	大沼公園IC	高速道路利用で約2時間50分
	JR東室蘭駅	特急列車利用で約30分		JR函館駅	特急列車利用で約3時間

◆ 白老町内からのアクセス

白老駅から徒歩約10分

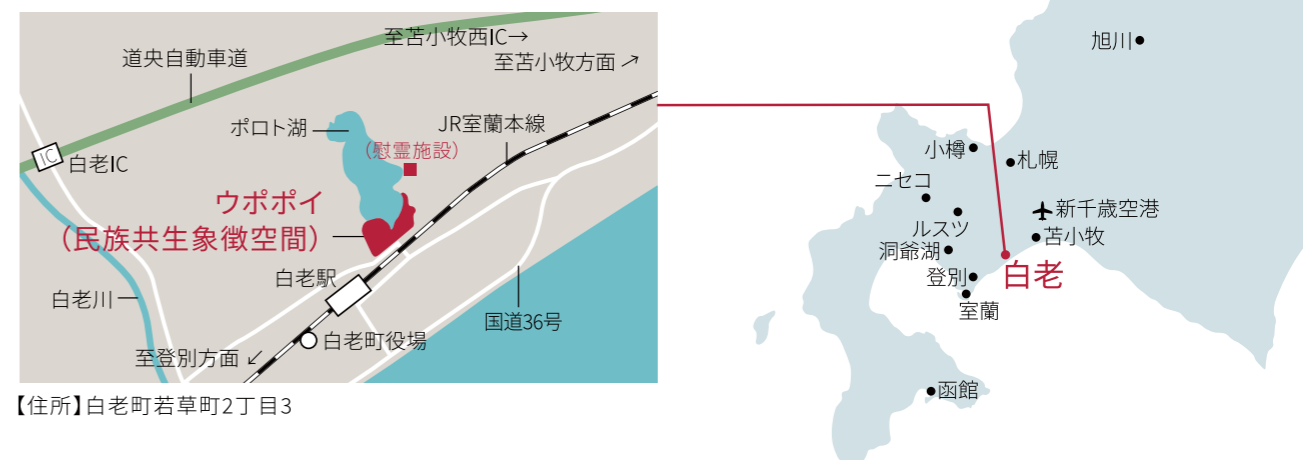
白老インターから車で約10分

JR白老駅に特急列車(北斗、すずらん)
1日33本停車

◆ 駐車場

【園内】 一般駐車場246台(有料)

【園外】 大型バス駐車場 50台(有料)



【住所】白老町若草町2丁目3

※上記時間は目安です。乗換時間は含みません。